

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



吉敷の木
「もみじ」

吉敷の花木
「うめ」

吉敷の草花
「マリーゴールド」

吉敷の草花
「サルビア」

2023

6

No. 807



いざというときのために！
城南方面隊一日訓練



総会・代議員会を開催しました
地域づくり・自治会・社協 総会・代議員会



探してみよう！
「良四季花壇」

CONTENTS

【トピックス①】

総会・代議員会を合同で
開催しました..... 2

インフォメーション..... 5

【トピックス②】

4年ぶりに開催！新たな賑わい！
「よしき軽井沢マルシェ」..... 6

レポート..... 6

みんなで防災..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,651（前月比 +33） 【世帯数】6,391（前月比 +46） 令和5年5月1日現在





総会・代議員会を合同で

開催しました

5月10日(水)、地域づくり協議会総会、自治会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で4年ぶりに開催し、可決されました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載し、事務局に閲覧用を備え付けています。

吉敷まちづくり計画の スローガンと活動目標

吉敷地域のまちづくりを推進するため新たに策定した「第2次吉敷まちづくり計画」では、若い世代における積極的な地域活動への参加が必要であることから、スローガンを「若い世代とともに築く笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」と設定し、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」としています。

3団体が一体となって進める

吉敷の地域づくり・まちづくり

吉敷地域では、市が推進する「協働によるまちづくり」として、地域課題の解決に取り組むため「地域づくり協議会」を設置しています。自治会と地区社協から地域づくり協議会へ財源を集め、3団体が一体となった運営に努めています。3団体は、このことを強みに、様々な活動を展開しています。

令和5年度 吉敷自治会予算

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金		
道路維持活動	841,940	市道除草業務委託
特林自治会活動補助金	100,000	市特林特別会計吉敷特別林野費
その他	110,000	緑化基金奨励金
諸収入		
返戻金	990,371	前年度地域づくり協議会自主財源精算
雑収入	313	利息ほか
繰越金	1,529,376	
合 計	6,452,000	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
事業費		
自治会活動費	625,000	町内会長会、こども会活動支援ほか
地域づくり活動費	480,000	地域づくり協議会へ
広報活動費	185,000	広報委員会へ(自治会負担分)
消防費	1,305,000	市消防団吉敷分団後援
地域防災費	50,000	地区防災会活動費
道路維持活動費	841,940	市道除草業務委託事業
負担金	1,240,000	地域づくり協議会へ(事務費・人件費)
繰出金	0	財政調整積立金
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか
雑費	50,000	慶弔費ほか
予備費	1,305,060	
合 計	6,452,000	

「吉敷自治会」
吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。地域住民どうしで助け合って住みよい地域を築いていく大切な役割を担い活動している組織です。

情報交換の場として
「町内会長会」を毎月開催
毎月第1木曜日に、地域住民の一番身近なコミュニケーションである町内会・自治会の会長が集まる「町内会長会」を開催しています。
地域交流センターから行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有をしています。また、生活をする中の課題の提議・解決のために、協議・検討も行っています。

令和5年度 町内会・自治会 会長名簿

町内名	会長名	摘 要
吉 敷 畑	吉 村 正 志	
中 尾 西	中 原 裕 孝	
中尾東上	山 縣 和 人	
中尾東下	小 倉 和 康	
緑ヶ丘	茨 木 正 明	吉敷自治会副会長
赤 田	木 村 克 己	吉敷自治会会長
佐 畑	中 村 秀 行	吉敷自治会会計
中 村	吉 田 勝	

町内名	会長名	摘 要
木 崎	有 澄 庄 三	
木崎団地	井 藤 貴 彦	
上 東	児 玉 頼 幸	
上東住宅団地	柴 田 理 加	
下 東	内 田 秀 高	吉敷自治会副会長
京面団地	秋 本 泰 治	
大 橋 町	豊 田 穰	
稻 葉 町	才 本 康 太	

吉敷地域の振興のため
自治会活動の推進
安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会と連携し、地区防災会活動を展開することとしています。
また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道除草業務の受託、広報活動、子ども会やスポーツ少年団などの活動支援、河川美化と美しい景観づくりのため、河川一斉清掃にも取り組みます。

令和5年度 地域づくり協議会予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
交付金	9,914,000	事業費4,801,000人件費4,372,000 事務費741,000
補助金	30,000	ホタル増殖保護事業
繰入金	3,705,000	自治会 (事業費480,000 人件費777,000 事務費463,000) 地区社協 (事業費100,000 人件費1,739,000 事務費104,000) 地域交流センター運営協議会 (事務費42,000)
繰越金	122,511	えがお食堂よしき寄付金96,511 河川環境美化活動助成金26,000
雑収入	60,489	商工会協賛金 (まつり:40,000 ホタルの夕べ:10,000 環境づくり:10,000) 利息489
合 計	13,832,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域振興	423,000	ふれあいネットワーク
	500,000	よしきフォトコンテスト
	250,000	人材発掘に向けた交流事業
	458,000	夏まつり
	608,000	ふるさとまつり
	50,000	コミュニティタクシー運行事業
	475,000	吉敷地区広報委員会へ
	183,000	吉敷地区人権学習推進協議会へ
	70,000	こどもドリームプロジェクト
	228,000	ホタル観賞の夕べ
地域福祉	50,000	動画による活動団体の紹介
	250,000	大運動会
	30,000	多世代交流グラウンドゴルフ大会
安心・安全	100,000	えがお食堂よしき
	150,000	吉敷地区防災会へ
	200,000	反射鏡・交通安全施設の充実
	230,000	交通安全・防犯対策協議会へ
環境づくり	79,000	青少年健全育成協議会へ
	200,000	ホタル増殖・放流事業
地域個性創出	300,000	環境づくり推進協議会へ
	760,000	文化振興協議会へ(凌雲寺跡活用検討含む)
協議会運営	1,350,000	事務費ほか
	6,888,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員3名)ほか
合 計	13,832,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、市の協働によるまちづくりの推進組織であり、市の地域づくり交付金を主な財源とし、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会を始めとした地域の団体と連携し、様々な活動などに取り組んでいます。

自家用車に代わる地域の公共交通 「ミタク良城」の周知と利用促進

「ミタク良城」は、高齢化の進展に伴い自家用車に代わる移動手段として導入した地域の公共交通です。
約1年半の実証運行を経て、昨年の10月から本格運行を行っています。現状では、利用者が当初の見込みを大きく下回っており、周知と利用促進に取り組んでいくこととしています。

ふれあいネットワーク協議会による 地域の見守りやあいさつ運動の推進

吉敷では、学校や地域関係団体で構成する「ふれあいネットワーク協議会」を設置し、見守りやふれあいあいさつ運動の総合的な推進を図っています。
また、このためのステッカーやピンバッジを作成し、散歩など何かをしながら見守りを行う「ながら見守り」に地域ぐるみで取り組んでいくことにしています。

地域の歴史や文化を活用した 個性あふれるまちづくりの促進

地域住民の吉敷の歴史や文化に対する関心や理解を深めるとともに、文化による交流の促進を図るため、歴史や文化を掘り起こし、様々な地域活動を通じて心豊かなまちづくりを推進します。
今後、昨年度までに設置した肥中街道の道標や昨年度末に復元した一里塚等の活用に取り組めます。

令和5年度 地区社会福祉協議会予算

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民会費	2,230,000	住民会費500円×4460戸
市・市社協助成金	1,457,000	敬老行事
	1,770,190	地区社協活動費・事務費
	89,560	福祉員協議会活動費
市社協委託金	150,100	小地区見守り活動
	336,000	ふれあい型給食
	5,000	地域福祉活動計画
共同基金配分金	1,115,445	地域福祉活動費
寄付金	100,000	香典返し、寄付金
繰入金	452,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい型給食)
繰越金ほか	2,413,705	前年度繰越金、利息、返戻金
合 計	10,119,000	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民活動費	1,515,280	敬老行事等町内会助成
	185,000	広報活動費
	94,000	サロンの運営支援
	207,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	417,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動の推進ほか
厚生保護費	249,560	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会助成
	320,000	福祉団体助成
	356,000	ふれあい型給食会活動費・助成
諸費	60,000	弔電、挨拶状ほか
負担金	2,330,400	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品ほか
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	1,943,000	地域づくり協議会へ(事業費、人件費、事務費)
	0	財政調整積立金
予備費	2,121,760	
合 計	10,119,000	



高齢者生きがいセンター(げんきやかた)
利用団体(囲碁同好会)



吉敷ボッチャ大会

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、住民会費や共同基金などを主な財源として活動している団体です。

昨年度策定した「第2次吉敷まちづくり計画」に基づき、様々な福祉活動を展開しています。

交流でつながりともに支え合う 心豊かに暮らせるまち

今年度もボッチャやベタンクによる交流事業を開催し、町内や世代を超えた交流を促進していきます。

また、地域で活動されている福祉関係団体どうしが連携・協力しながら生活課題を解決することを目指し、より一層地域の「つながり」を深めていきます。

身近な地域での憩いの場で 仲間づくりや生きがいづくり

吉敷地域では、地域の皆さんが身近な場所ですぐ仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

地域内に設置されているサロンを支援していくとともに、高齢者生きがいセンターを市から指定管理を受け、運営・管理していきます。

みんなで見守り支え合い 安心して暮らせるまちづくり

高齢者等が安心して暮らし続けるために、町内会長、民生委員、福祉員が中心となったグループにより、見守り訪問活動を継続して行っています。その活動のひとつとして、ふれあい型給食会と協力し、月1回、希望する高齢者等のお宅へ弁当をお届けし、活動の充実を図っています。

イベント案内

歯のおはなし講座&カフェ

これから生えてくる乳歯。永久歯に抜
け代わるから大丈夫？

歯には、食えること以外でも大切な役
割があります。歯がいかに大切なのか、
お話を聞いてみませんか？

【とき】6月20日(火)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 和室

【講師】半田 幸子氏 (歯科衛生士)

【対象】未就学児の保護者 10組

【準備】子どもの飲み物、歯磨きのこと
を相談したい方はお子さんの歯ブラシ
をお持ちください。

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

七夕かざりづくり

地域交流センターにかざる七夕かざり
を一緒に作りませんか！

【とき】6月24日(土)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】小学生20名 (先着順)

【講師】吉敷美術部

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915



俳句入門講座

俳句の「は」の字から知りたい初心
者も、より良い句にするための技法を
学びたい経験者もご参加ください。

講師にアドバイスをもらいながら、
とっておきの一句を詠んでみましょ
う。

【とき】6月28日(水)10時～12時

【場所】地域交流センター 講座室

【講師】杉山 久子氏

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915



つどいの広場「楽楽楽」

ららの夏祭り&バザー

釣りや割りばしくじなどのミニゲー
ムやバザーなどで楽しく過ごしましょ
う☆

【とき】7月1日(土)10時～12時

【場所】吉敷つどいの広場「楽楽楽」

【対象】どなたでも

【ゲーム参加費】200円/3回分

【駐車場】駐車場には限りがあるため近
隣の方は徒歩・自転車でお越しいただ
けると助かります。

【申込・問い合わせ】つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0005

肺がん(結核)検診

早期のがんは自覚症状がないこと
が多いため、定期的な検診受診が必
要です。40歳以上で、職場等で検
診、人間ドック等を受ける機会のな
い方はぜひ受診しましょう。

【とき】7月4日(火)9時～16時(12
時から13時は除く)

※9時～10時は混雑するため、10
時以降または午後からの受診が勧め
めです。

【場所】吉敷地域交流センター 講堂

【持参】がん検診受診券(5月下旬発送)

【負担金】300円(令和5年4月1
日時点で65歳以上の方は無料)

【予約】不要

喀痰(かくたん)検査

肺がん検診と同時に受診可。

【対象】肺がん検診受診者のうち、50
歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数
×喫煙年数)が600以上の方

【負担金】700円(70歳以上の方、
「後期高齢者医療被保険者証」を提
示された65～69歳の方、70歳未満で
市民税非課税世帯の方(要事前申請)
は500円。

※台風等の荒天の場合は、延期また
は中止となる場合があります。

【問い合わせ】山口市保健センター

☎083-921-2666

鴻南地域包括支援センター からのお知らせ

「災害に備えて」

自分の命は自分で守ろう！

近年の異常気象から、いつどこで災
害が起こるかは、過去の経験から察知
することが難しくなってきました。普
段から災害時にどう行動するかを決め
て、早めの防災行動をとりましょう。

あなたの防災レベルをチェックしてみ
よう！

□家具の固定など家の中の安全対策
はしている。

□災害時の備蓄品は3日分用意してい
る。

□安否情報について確認方法を家族間
で決めている。

□自宅近くの避難場所がどこか知って
いる。

「山口市防災ガイドブック」も活用く
ださい。

※答えは
この中に・・・



※介護保険サービスを利用されている
方は、事前に担当ケアマネジャー・ご
家族と、避難時の行動について相談し
ておきましょう。

【問い合わせ】山口市鴻南地域包括支援
センター

☎083-934-3333



4年ぶりに開催！新たな賑わい！ 「よしき軽井沢マルシェ!!」

4月23日(日)、良城(よしき)商工振興会では、4年前まで毎年この時期に佐畑(滝河内)地区で開催されていた「よしき軽井沢通り」を、新たな賑わいの創出を目指し、従来とは少し趣向を変えて「よしき軽井沢マルシェ」として開催しました。

失った元気を、取り戻して いただくイベントー

従来開催されていた「よしき軽井沢通り」は、良城小学校裏門から龍蔵寺まで続く新緑まばゆいのどかな小径で沿道の住民が出店し、そこを訪れる人たちのふれあいを創出するイベントでした。新型コロナウイルス流行によりイベントが制限されるまで毎年一回7年連続で開催されていましたが、令和2年から中止を余儀なくされ、実行委員会(代表 蔵重昭子)も再開に向け気をもんでいた。

そんな折、昨年夏ごろに、商工振興会と、会員でもある蔵重さんとの発案により、長引くコロナ禍の中、皆さんに再び従前の元気や活気を取り戻していただくという計画が立てられ、イベント実施主体を商工振興会が受け持ち、若手役員が中心となってプロジェクトチームを作り実行委員会を組織して計画を進めてきました。

従来の目的を受け継ぎつつ 「新たな賑わい」の創出

今回は、出来るだけコンパクトで参加者の顔が見えるイベントにするというコンセプトにより、一箇所集中型(玄済寺・よしき病院・悠々苑に囲まれた中庭)の開催となりました。会場内にはマルシェブース、飲食ブース、演奏ブースを設け、来場者を楽しませる様々な企画を行いました。

次年度開催に向けて、 持続的なイベントへの想い

商工振興会では、今回開催の検証をしっかりと行い次年度開催に向け、より良いイベントとなりますよう注力したいと思っています。地元の方や地域各組織と連携を密に取りながら、「参加しても、企画しても楽しいイベント」を目指したいと思えますので、よろしくご協力ください。



REPORT レポ

良城小にレノ丸登場

4月27日(木)、レノファ山口FCの公式キャラクター「レノ丸」が良城小学校にやってきました。
ホームスタジアムを置く吉敷地域の子どもたちにもっとレノファを好きになってもらおうというレノファ山口からの働きかけにより実現しました。児童はレノ丸とハイタッチし大喜びでした。



ともに支え合う地域に

5月10日(水)、地区社会福祉協議会は「見守り訪問活動」「民生委員・児童委員及び福祉員研修会」を開催しました。
研修会では、見守り活動は多くの住民がつながりあう仕組みとして重要であることを学び、その後、町内ごとに見守りについて話し合いました。



吉敷畑の風景を守り築ぐために

5月13日(土)、吉敷畑地域の皆さんのご協力のもと、有志により農作業体験・田植え交流会が行われました。
山口県立大学の学生を中心とした参加者は、田植え体験の後、畑河内神社で豊作を祈る神事に参列。その後は、地元の方々が作ってくださった料理を楽しみながら交流しました。



吉敷川河川公園の清掃活動

5月14日(日)、地区地域づくり協議会と環境づくり協議会により、吉敷川河川公園付近で草刈りや花壇の草取りなどの清掃活動を行いました。
吉敷自治会の協力もあり48名が参加され、皆さんのご協力により河川公園をきれいにすることができました。





「避難場所」と「避難所」

違い!!知っていますか?

防災用語で紛らわしい言葉に「避難場所」と「避難所」があります。どちらも同じ様なものだと一っしょくたにしていますか?



「避難場所」は、洪水や、土砂災害、火災などの危機が迫ってきたときに、危険が無くなるまで一時的に逃げ込む場所のことです。



「避難所」は、災害が発生した時に、安全な住まいを確保することが困難な住民が避難生活を送る施設のことです。

まずは「避難場所」に避難して安全を確保し、その後に「避難所」に移動する流れになります。

吉敷地区においては、維新百年記念公園が「広域避難場所」に指定されています。

避難所の情報は、市ウェブサイトから確認できます。



また、吉敷地域交流センター、良城小学校、鴻南中学校、吉敷幼稚園の4か所が「避難場所」と「避難所」を兼ねて指定されています。

避難所の開設は災害の種類や被災状況によって判断されます。災害時に毎回すべての避難所が開設されるわけではありません。

また、避難場所、避難所が常に安全な場所であるとは限りません。災害の種類ごとに利用できるかどうか異なるのであらかじめ最寄りの避難所の開設条件を確認しておきましょう。

「自分の命は自分で守る」

災害が発生した時、最良な避難場所を選択するのはあなた自身です。(2022年10月号「みんな防災」参照)

あなたにとって一番安全な場所が選択できるように日頃から「いつ何処に、避難するか」を家族みんなで確認しておきましょう。

リレーエッセイ

Relay Essay

037

こどもよりゆき
見玉 頼幸さん(上東)



私は現在、NPO法人で子どもたちを支援する活動を行っています。以前と比べて、地域での人と人の関係が希薄となる中、10年前から、全国各地で「こども食堂・地域食堂」が広がっています。吉敷地区では、地区をあげて「地域食堂」に取り組むこととされ、2019年2月16日「えがお食堂よしき」が始まりました。実行委員会やボランティアの皆さんのおかげで、毎回、笑顔があふれる、とても温かな地域食堂です。子どもや子育て家庭、ひとり暮らしの高齢者の方など地域の人たちが「食」を通じて交流することで、いろんな人と顔見知りになり、道で会ったら挨拶したり、ボランティアで活躍するお節介なおじさんやおばさんたちが子どもたちを喜ばせようと集まると、新しい出会いが広がり、そのつながりが次の出会いや活動へとつながり、互いを思いやる地域づくりに結び付くと思います。

山口県ではこども食堂を子どもたちにとって、大切な地域の居場所として「こども食堂応援宣言!」を出して、普及促進を図っています。私たちは、「こども食堂・地域食堂」を通じて、以前のように、地域の大人たちが子どもたちを思い、見守り支えることで、子どもたちが明るく元気に成長していける地域づくりを目指していきたいと思っています。吉敷地域においても、コロナ禍で中断している地域食堂の再開を心待ちにしています。



「えがお食堂よしき」の様子





1木	●町内会長会 18:30～
2金	
3土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●レノファ山口 VS V・ファーレン長崎 14:00～(みらスタ)
4日	
5月	●あいさつの日
6火	
7水	●広報委員会 17:00～
8木	
9金	
10土	
11日	
12月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●地域内福祉・子育て活動団体間交流会 10:00～12:00
13火	
14水	
15木	●ふれあい給食
16金	
17土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00

18日	●吉敷ボッチャ大会 9:30～12:00 ●レノファ山口 VS ベガルタ仙台 14:00～(みらスタ)
19月	
20火	●歯のおはなし講座&カフェ 10:00～11:30 P.5
21水	
22木	
23金	
24土	●七夕かざりづくり 10:00～11:30 P.5
25日	●親睦ソフトバレーボール大会 9:00～
26月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
27火	
28水	●俳句入門講座 10:00～12:00 P.5
29木	
30金	

7月のおもなイベント

1土	ららの夏祭り&バザー P.5
3月	あいさつの日
4火	肺がん(結核)検診 P.5
9日	市消防団消防操法大会
23日	河川一斉清掃

「コロナ感染症で学んだこと」
私は高度成長期に学生時代を過ごし、昭和後期から平成初めのバブル期に社会人として修業を積み、バブルがはじけた平成3年から約28年間自営で生業を起こして、還暦を迎える前に円満に事業継承を果たし現在に至ります。

今年で65歳になりますが、「新型コロナウイルス」のように世界中に生命の危機や経済の極端な混乱を招いた現象を目の当たりにしたことは、過去一度も無かったと思います。印象に残る重大出来事として順位をつけるとしたら、間違いなく1位にランクします。

本年5月8日より5類に移行しますが、本当にコロナ前の日常に戻るのか「マーク」の方も多いと思います。しかし、この出来事で得た教訓が今後の糧になる事を期待する吉敷人としては、人と人が直接会わなくても仕事や会合などが成立する世の中になっても、直接対面するときにはまたしても、今年のふれあい標語「声かけで絆ふくらむ、地域の輪と和」の通り、今まで以上に人の感情や温もり、絆などが何より大事な事だと学べた出来事であってほしいと切望します。

広報委員 植野伸一

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

